いっちん子ども自然塾　　11月度報告

活動の目的　　農作業歳時記に従って、子どもたちに年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを観察し、自然とかかわることの楽しさを味わい、自然環境の大切さを学習してもらう。

1. 開催日時　2023年11月12日（日）　10時～14時30分　　曇りのち雨
2. 開催日時　参加者　13名　（欠席7名）　　参加スタッフ11名
3. 開催日時　1　農作業;脱穀体験、ラッカセイ掘り、ワタ摘み
　　2　森の管理;竹細工
　　3　森の学習;ひっつきむしの観察と学習、描画

4. スケジュールと活動概要

10:00-10:15	挨拶、本日のスケジュール説明と注意事項
10:15-10:50	畑ツアー、ラッカセイ掘り、ワタ摘み
10:55-12:10	脱穀体験（3種の機械にて体験、動力式にて2次処理を含め全量処理した）
12:10-13:00	手洗い後、高架下で昼食。あとは自由時間。ゆでたラッカセイを試食。
13:00-13:45	ひっつきむしの学習、採集と観察、フェルト上に描画。
13:50-14:25	竹で一輪挿しを作る。草花を飾る。作品は持ち帰り。
14:25-14:30	今日の振り返り、次回のお知らせと注意事項、お土産;生ラッカセイ

5. 活動補足と所見
- ラッカセイは、1株当たりの実りにバラツキがあったが、殻をひとつずつ枝からもぎ取った。
  獲れたて茹でたてを試食したが、なじみにくかったのか、あまり喜ばれなかった。
- 脱穀作業は、稲架掛け3本分を処理した。降雨を懸念して高架下に、3種の脱穀機を据え体験作業をした。
  手間のかかる千歯こきが結構人気があり、多くのこぼれ籾まで丁寧に拾い集めてくれた。
- オオオナモミなどひっつきむしの学習と、フェルト地へのお絵かきは、自由課題としたので、少し手間取っていたが、やがて自分流の構図を見つけたようで、楽しい作品に仕上がった。
- 二人一組にて、竹を伐って一輪挿しを作った。出来上がった一輪挿しの挿花に熱心な子どもや切欠きの難しい取っ手付き作品にも挑戦した。

6. 活動風景

ラッカセイの収穫

畑作物の説明

千歯こきで脱穀作業

足踏式脱穀機

動力式脱穀機

ひっつきむしの描画

竹の一輪挿し